

職種紹介シート

「住民が、医療や介護を受けながらも、人生の最後まで住み慣れた地域で、自らが選択し自分が望むより良い暮らしが継続できる」を目指して

～在宅で安心して暮すために私たちができること～

職種： **歯科（歯科医師）**

職種が目指していること：最期までお口からの食事を安全に楽しんでもらう

		サービス名	対象者	内容	費用等(1割負担)
職種としてできること	医療保険	訪問診療	通院が困難な方 (歩行困難や寝たきり等) 担当歯科医院より半径16kmの範囲	歯科診療 ・抜歯 ・虫歯 ・歯周病 ・入れ歯の調整 修理 新製 ・レントゲン ・お口の中の機能検査 ・摂食嚥下リハビリ (1日でも長くお口から食べるためのトレーニング)	目安 (R6.6月現在) 1100円(お一人診療) 1本：1600～3900円 1本：1100～2200円 10～19歯8回の場合 20200円 1回：800～2000円 片方：1600～3900円(1～8歯) 上下総入れ歯 10500～15600円 部分的1枚 58円～ 舌圧、咀嚼能力 各140円 130～600円
	介護保険	居宅療養管理指導	〃	医学管理上の指導 (ケアマネジャーさんに情報提供、利用者や家族へ介護方法等の指導や助言)	441～517円 (月に2回まで)
	その他	交通費	〃	訪問診療にかかる交通費 (介護保険・医療保険に交通費は含まれていないため、別途)	医院によって異なる (無料の医院もあり)
専門職として伝えたい事		○入れ歯があれば咬めるわけではなく、上手く使って“食べる”ためにリハビリが大切である。 ○食事が困難になってから等の利用開始になるとリハビリで機能を回復するのは難しい事も多い。自覚が無い方のフレイル(機能の低下状態)を見つけ、早めに介入することが必要。 ○発熱を繰り返す方は、誤嚥性肺炎の可能性も高い！肺炎のうち誤嚥性肺炎は80代8割、90代9割。 ○私たちは虫歯や入れ歯の治療だけでなく、『低栄養と誤嚥性肺炎を予防します』残っている歯や入れ歯が悪いと食べられなくなり低栄養になる。 お口の中の機能は年々衰えていくため、食べられているうちからリハビリを行うことが非常に重要。病は口からとも言われる位、大切です。 ○別紙のアセスメントシートに該当すれば、歯科を受診するよう勧めてください。			
専門職として困っていること、問題点		○訪問診療(入れ歯の調整など)は行けるが、継続したケアやリハビリはマンパワー不足で受付していない歯科医院が多い。時間の制約もある。 ○観音寺地域に関しては、もっと訪問歯科診療の必要性を広めて、サービスを提供していきたいにもかかわらず、本当に必要な方に必要なサービスを提供しきれない状況。 (歯科医師・歯科衛生士不足、時間不足。診療以外の作成書類が多く、時間や人が必要) ○訪問歯科診療(治療だけでなくケア・リハビリを含む)の必要性が家族にご理解いただけない事も多い。緊急性がありそうな場合でも、コスト的に難しいなど、同意を得られず訪問診療に行けない場合もある。週に1回では足りない状況の方も多々ある。 ○インプラントは、重症化に本人が気付かない事も多いので、近くにかかりつけ医を持って定期検診をしてほしい。			
その他		歯科 の居宅療養管理指導は、 介護保険の支給限度額外 であるが、利用者様ご家族様はご存知ないことが多いため、現存のサービスを減らしたり、変更する必要がない事をケアマネージャー様にお伝えいただきたい。			